

第 1 章 調査の目的及び方法等

第 1 章 調査の目的及び方法等

1 調査の目的

本格的な高齢社会を迎え、高齢者が可能な限り住み慣れた地域社会で生活し、社会とのかかわりを持ち続けていくためには、その基盤となる住宅及び生活環境を高齢者の暮らしやすいものとするのが重要である。

そのためには、住宅を高齢者の身体機能の低下や高齢期の多様な居住形態に対応した構造、設備とするとともに、住み慣れた地域において、高齢者が必要とする様々な社会機能や安心して不自由なく外出、買物などができる環境の整備が必要である。

このような観点から、本調査においては、高齢者の住宅と生活環境に関する意識等を把握し、今後の高齢社会対策の推進に資することを目的としている。

2 調査対象者、調査事項及び調査方法等

(1) 調査対象者

全国の 60 歳以上の男女

(2) 調査方法

調査員による面接聴取法

(3) 調査事項

- ア 調査対象者の基本属性に関する事項
- イ 基本的生活に関する事項
- ウ 住宅・生活環境に関する事項
- エ その他に関する事項

(4) 調査実施期間

平成 22 年 11 月 4 日 ~ 平成 22 年 11 月 14 日

(5) 標本抽出法

層化 2 段無作為抽出法

(6) 標本数及び有効回収数

ア 標本数	3,000人	
イ 有効回収数(率)	2,062人	(68.7%)
ウ 調査不能数(率)	938人	(31.3%)
エ 不能内訳	転居	48(1.6%)
	長期不在	98(3.3%)
	一時不在	228(7.6%)
	住所不明	15(0.5%)
	拒否	451(15.0%)
	その他	98(3.3%)

(7) 調査委託機関

社団法人 新情報センター

3 調査の協力者

この調査は、内閣府政策統括官(共生社会政策担当)付高齢社会対策担当が実施した。また、実施に際しては次の学識経験者の協力を得た。

狩野 徹(岩手県立大学社会福祉学部教授)

鈴木 晃(国立保健医療科学院健康住宅室長)

田中 直人(摂南大学理工学部教授)

中村 文彦(横浜国立大学大学院教授)

蓑輪 裕子(聖徳大学短期大学部准教授)

4 調査対象者の基本属性

(1) 性別・年齢階級別構成 (F1・2)

	性別			年齢階級別					
	総数	男	女	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
平成22年	2,062 100.0	979 47.5	1,083 52.5	574 27.8	500 24.2	457 22.2	322 15.6	147 7.1	62 3.0
平成17年	1,886 100.0	845 44.8	1,041 55.2	482 25.6	433 23.0	417 22.1	292 15.5	167 8.9	95 5.0
平成13年	2,226 100.0	1,017 45.7	1,209 54.3	535 24.0	670 30.1	523 23.5	322 14.5	124 5.6	52 2.3

(2) 同居人数 (F3)

	総数	ひとり	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上	無回答
平成22年	2,062 100.0	237 11.5	860 41.7	477 23.1	196 9.5	121 5.9	98 4.8	73 3.5	0 -
平成17年	1,886 100.0	218 11.6	791 41.9	353 18.7	177 9.4	128 6.8	139 7.4	79 4.2	1 0.1
平成13年	2,226 100.0	212 9.5	878 39.4	403 18.1	214 9.6	185 8.3	195 8.8	139 6.2	0 -

(3) 家族形態 (F3 + F3SQ1)

	総数	単身世帯	夫婦二人世帯	本人と子の世帯	本人と子と孫の世帯	その他	無回答
平成22年	2,062 100.0	237 11.5	739 35.8	548 26.6	209 10.1	329 16.0	0 -
平成17年	1,886 100.0	218 11.6	680 36.1	497 26.4	348 18.5	142 7.5	1 0.1
平成13年	2,226 100.0	212 9.5	779 35.0	558 25.1	580 26.1	97 4.4	0 -

注) 各形態の集計方法は以下のとおり。

選択肢(F3SQ1): 「配偶者(夫又は妻)」、「あなた又は配偶者の親」、「子ども」、「子どもの配偶者」、「孫」、「兄弟姉妹」、「その他の親族」、「親族以外の者」

単身世帯 = 「F3で1人」と答えた者

夫婦二人世帯 = 「F3SQ1で のみ」と答えた者

本人と子の世帯 = 「F3SQ1で のみ」、「F3SQ1で 、 のみ」、
「F3SQ1で のみ」、「F3SQ1で 、 のみ」、
「F3SQ1で 、 、 のみ」のいずれかを答えた者

本人と子と孫の世帯 = 「F3SQ1で 、 のみ」、「F3SQ1で 、 、 のみ」、「F3SQ1で 、 のみ」、
「F3SQ1で 、 、 のみ」、「F3SQ1で 、 、 、 のみ」のいずれかを答えた者

その他 = 上記以外の者

(4) 同居者との住宅形態 (F 3 S Q 2)

	総数	一戸建てやマンション・アパートなどの一つの住居で一緒に生活している	一つの家屋の中で住居を区分して生活している(いわゆる二世帯住宅など)	同じ敷地内の別の棟に居住している	無回答
平成22年	1,825 100.0	1,675 91.8	88 4.8	48 2.6	14 0.8
平成17年	1,667 100.0	1,448 89.3	110 6.6	55 3.3	14 0.8

(5) 健康状態 (F 4)

	総数	良好(計)			普通	不良(計)	あまり良くない		無回答
		良い	まあ良い	あまり良くない			良くない		
平成22年	2,062 100.0	1,166 56.5	787 38.2	379 18.4	533 25.8	363 17.6	293 14.2	70 3.4	0 -
平成17年	1,886 100.0	1,046 55.5	563 29.9	483 25.6	520 27.6	317 16.8	262 13.9	55 2.9	3 0.2
平成13年	2,226 100.0	1,147 51.5	683 30.7	464 20.8	593 26.6	484 21.7	401 18.0	83 3.7	2 0.1

(6) 要介護認定 (F 5)

	総数	認定を申請していない	認定を申請中	認定申請したが、「非該当」と認定された	要支援1	要支援2	要介護1
平成22年	2,062 100.0	1,939 94.0	5 0.2	1 0.0	23 1.1	24 1.2	17 0.8
		要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	認定されているが、要介護度はわからない	わからない
		13 0.6	7 0.3	4 0.2	3 0.1	20 1.0	6 0.3

(7) 日常生活への影響 (F 6)

	総数	ある	ない
平成22年	2,062 100.0	367 17.8	1,695 82.2

(8) 身体の状態 (F 7) (複数回答)

	総数	手に不自由さを感じる	足に不自由さを感じる	目に不自由さを感じる	耳に不自由さを感じる	特に不自由さは感じない	無回答
平成22年	2,062 113.1	124 6.0	343 16.6	227 11.0	190 9.2	1,449 70.3	0 -
平成17年	1,886 111.9	102 5.4	333 17.7	225 11.9	171 9.1	1,268 67.2	12 0.6

(9) 外出や歩行の状況 (F 8 - 1)

	総 数	交通機関などを利用して一人で外出できる	隣近所へなら一人で外出できる	屋内は一人で歩けるが外出には介助がいる	屋内はつえ・歩行器を用いたり介助があれば歩ける	屋内で車いすを使う	1日中ベッドの上で過ごす	わからない (平成17年は無回答)
平成22年	2,062 100.0	1,847 89.6	120 5.8	54 2.6	20 1.0	5 0.2	7 0.3	9 0.4
平成17年	1,886 100.0	1,640 87.0	150 8.0	49 2.6	22 1.2	8 0.4	9 0.5	8 0.4

(10) 入浴介助の状況 (F 8 - 2)

	総 数	何も使わず一人で入ることができる	多少の不自由はあるが、何も使わず一人で入ることができる	手すりがあれば一人で入ることができる	パスボード(入浴台)などがあれば一人で入ることができる	介助が必要	入浴は不可能	わからない (平成17年は無回答)
平成22年	2,062 100.0	1,958 95.0	29 1.4	31 1.5	5 0.2	31 1.5	5 0.2	3 0.1
平成17年	1,886 100.0	1,771 93.9	51 2.7	17 0.9	6 0.3	29 1.5	5 0.3	7 0.4

(11) 日常活動の状況 (F 9)

	活動内容	総 数	難しいと感じる(計)	難しいと感じる		難しいと感じない	わからない
				とても難しいと感じる	すこし難しいと感じる		
平成 22 年	適度な活動	2,062 100.0	264 12.8	91 4.4	173 8.4	1,790 86.8	8 0.4
	少し重い物の持ち運び	2,062 100.0	397 19.3	163 7.9	234 11.3	1,663 80.6	2 0.1
	階段昇り	2,062 100.0	317 15.4	97 4.7	220 10.7	1,738 84.3	7 0.3
	体の屈伸など	2,062 100.0	317 15.4	103 5.0	214 10.4	1,739 84.3	6 0.3
	数百メートルの歩行	2,062 100.0	191 9.3	69 3.3	122 5.9	1,868 90.6	3 0.1
	入浴・着がえ	2,062 100.0	100 4.8	40 1.9	60 2.9	1,959 95.0	3 0.1

(12) 職 業 (F 1 0)

	総 数	有 職 (計)	自営業 者・家族 従業者 (計)			被用者 (計)	常 勤 の 被 用 者	非 常 勤 の 被 用 者	無 職
			農 林 漁 業	商 工 ・ サ ー ビ ス 、 自 由 業					
平成22年	2,062 100.0	712 34.5	371 18.0	131 6.4	240 11.6	341 16.5	201 9.7	140 6.8	1,350 65.5
平成17年	1,886 100.0	598 31.7	332 17.6	85 4.5	247 13.1	266 14.1	146 7.7	120 6.4	1,288 68.3
平成13年	2,226 100.0	690 31.0	453 20.4	211 9.5	242 10.9	237 10.6	133 6.0	104 4.7	1,536 69.0

(13) 都市規模

	総 数	大都市	中都市	小都市	町 村
平成22年	2,062 100.0	472 22.9	867 42.0	522 25.3	201 9.7
平成17年	1,886 100.0	332 17.6	715 37.9	449 23.8	390 20.7
平成13年	2,226 100.0	383 17.2	760 34.1	453 20.4	630 28.3

「大都市」: 東京都区部と指定都市

「中都市」: 人口10万人以上の市(大都市を除く)

「小都市」: 人口10万人未満の市

(14) 住宅の建て方

	総 数	一 戸 建 て 住 宅	集 合 住 宅	寮 ・ 寄 宿 舎 ・ 保 養 所 な ど 住 み 込 み	そ の 他
平成22年	2,062 100.0	1,770 85.8	286 13.9	2 0.1	4 0.2